

平成 18 年 7 月 31 日
平成 18 年 9 月 1 日改定

MFJ 公認競技会主催者およびエントラント各位

財団法人
日本モーターサイクルスポーツ協会
ロードレース委員会

ロードレースの実施テストに伴う規則改定と規則運用ガイドラインについて

さる、6月23日にロードレース委員会を開催し、2007年の国内競技規則変更を視野に入れて、以下の項目について検証を行うため、一部規則を暫定的に改定いたします。

1. 全日本選手権 ST600・JSB1000クラスのゼッケンベースカラー規定の解除について<暫定>

2007年度から全日本ロードレース選手権におけるST600・JSB1000クラスのゼッケンベースカラーに関する検証を行うため、全日本ロードレース選手権 SUGO大会(8月27開催)より最終戦鈴鹿大会まで、暫定的に以下の規則を適用する。

全日本選手権ST600・JSB1000のフロント・サイドゼッケンベースカラーは、以下のとおりとする。

文字の色は、黒か白文字とし、ナンバープレートのバックグラウンドの色は自由とするが、文字が判別しやすいうにしなければならない。

なお、数字の字体は、国内競技規則書 付則4 8. ナンバープレート 8-7項を適用する。 (p78)

サポートナンバーについては、当該年度と同様の規定で貼り付けなければならない。

(参照：4月3日発表：ST600・JSB1000「サポートナンバーのガイドライン」)

2. 予選複数組における決勝進出者決定方法のガイドライン

- 1) コースコンディションがドライの場合（すべての予選組およびすべての予選セッション）の場合、総合予選結果に基づきタイム順とする。
- 2) 1セッションの一部でもコース状況の変化（降雨または部分的なウェット路面等）の場合、各組の頭取りとする。
各予選組のトップタイムを比較し、その順番で振り分けることとする。
- 3) ウエイティング繰上げの優先順位
上記2)の場合、ウエイティング繰上げの優先順位は、決勝レース出場不可能な選手の予選組に関わらず、各組の頭取りの順番に基づき優先順位が与えられる。

例・決勝進出 36 台で、予選 A 組がトップタイムの場合

予選 1 位 (A 組 1 位) ・ 2 位 (B 組 1 位) ~ 予選 36 番 (B 組 18 位) は予選通過とし、
ウエイティング優先順位 (嘆願書を提出したもの) は
優先順位 1 番 (A 組 19 位) 2 番 (B 組 19 位) 3 番 (A 組 20 位) とする。